

経営比較分析表（平成30年度決算）

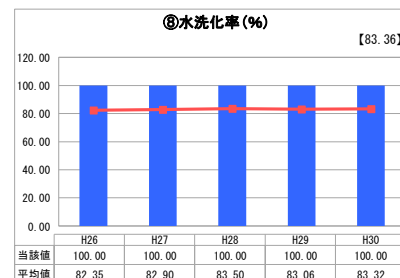
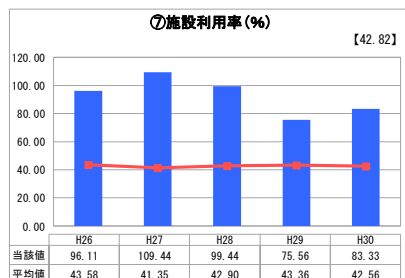
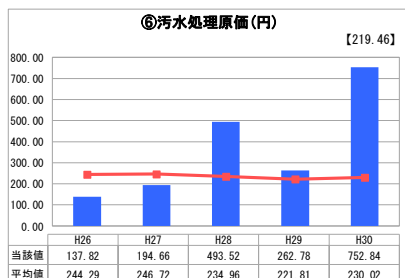
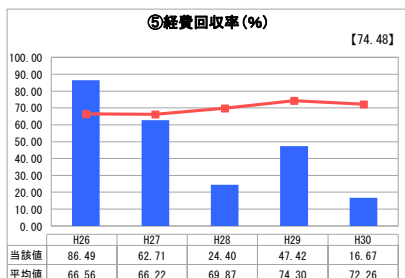
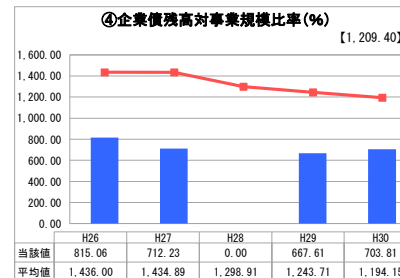
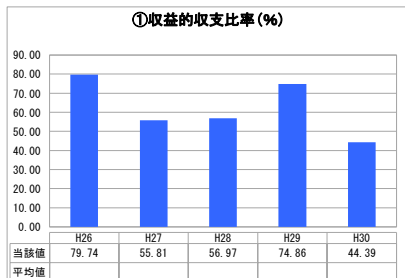
沖繩県 竹富町

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.15	100.00	1,827

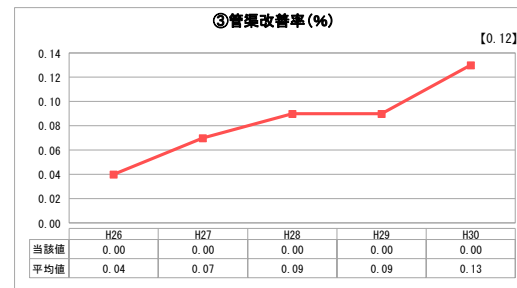
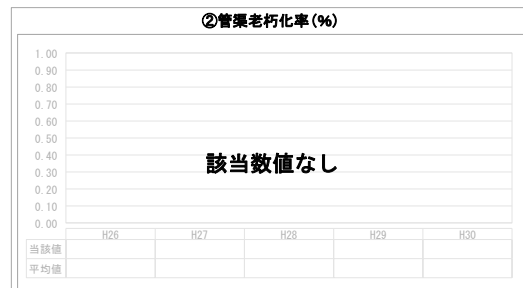
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,343	334.40	12.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
344	0.24	1,433.33

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は44.39%と100%未満で、単年度収支は赤字となっている為、経営改善に向けた取り組みが必要である。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値より企業債残高で小額であるが、今後は処理施設等の更新時期を向かえる為増える見込みである。

⑤経費回収率は16.67%となっており、類似団体平均値より低い回収率である為、適正な使用料収入の確保及び料金の改定見直しや汚水処理費の削減が必要である。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均値よりも高く、原因は汚水処理施設等の老朽化による維持管理で汚水処理費が高くなっている。今後、より最適な処理方法を検討実施し経営改善が必要である。

⑦施設利用率は、類似団体と比較しても高く適切な施設規模である。

⑧水洗化率は、100%となっており、汚水処理が適切に行われている。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、更新時期をむかえていないこともあり、0%で推移しているため類似団体平均値より低くなっている。今後の更新・改築に向けて、事業計画や財源の確保が必要である。

全体総括

今後の汚水処理施設・管渠等の更新や改築の時期に向けて、経営の健全性・効率性について経営戦略・事業計画等の見直し・作成が必要である。また、料金回収率を上げるべく徴収方法の改善や料金の改定見直しにも取り組み財源の確保を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。